作成日　2021 年 3 月 5 日
改訂日　2025 年 5 月 30 日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称　：　サンケイコテツベイト
供給者の会社名称，住所及び電話番号
会社名称　：　サンケイ化学株式会社
住所　：　〒110-0005　東京都台東区上野 7 丁目 6-11(第一下谷ビル)
担当部門　：　開発部
電話番号　：　03-3845-7951
ＦＡＸ番号　：　03-3845-7950
緊急連絡先　：　同上
整理番号　：　B － 157
推奨用途及び使用上の制限　：　農薬(殺虫剤)

2. 危険有害性の要約

化学品のＧＨＳ分類

物理化学的危険性	可燃性固体	：	区分に該当しない
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	：	区分に該当しない
	急性毒性(経皮)	：	区分に該当しない
	急性毒性(吸入)	：	分類できない
	皮膚腐食性／刺激性	：	区分に該当しない
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	：	区分に該当しない
	呼吸器感作性	：	分類できない
	皮膚感作性	：	分類できない
	生殖細胞変異原性	：	区分 2
	発がん性	：	区分 1A
	生殖毒性	：	分類できない
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	：	分類できない
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	：	区分 1(呼吸器、免疫系、腎臓)
	誤えん有害性	：	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性　短期(急性)	：	区分 1
	水生環境有害性　長期(慢性)	：	区分 1

上記に記載がないものは、「区分に該当しない」か「分類できない」である。

ＧＨＳラベル要素
絵表示　：

注意喚起語　：　危険
危険有害性情報　：　H341　遺伝性疾患のおそれの疑い
H350　発がんのおそれ
H372　長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器、免疫系、腎臓の障害
H400　水生生物に非常に強い毒性
H410　長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

作成日　　2021 年 3 月　5 日
改訂日　　2025 年 5 月 30 日

注意書き　：【安全対策】
P201　使用前に取扱説明書を入手すること。
P202　全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
P280　保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面等を着用すること。
P260　粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P264　取扱い後は手をよく洗うこと。
P273　環境への放出を避けること。

：【応急措置】
P308+P313　ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
P314　気分が悪い時は、医師の診察／手当てを受けること。
P391　漏出物を回収すること。

：【保管】
P405　施錠して保管すること。

：【廃棄】
P501　内容物や容器は、当該規則に従い都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して、適切に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　：混合物

化学名又は一般名	含有量
４－ブロモ－２－(４－クロロフェニル)－１－エトキシエチル－５－トリフルオロメチルピロール－３－カルボニトリル (一般名：クロルフェナピル)	0.5%
穀粉、鉱物質微粉等	99.5%

化学名又は一般名	含有量	CAS No.	化管法 管理番号	官報公示整理番号	
				化審法	安衛法
クロルフェナピル	0.5%	122453-73-0	1 種 722	5-6557	8-(1)-2298
石英(結晶)	25.4～27.6%	14808-60-7	―	1-548	―

4. 応急措置

吸入した場合　：直ちに空気の新鮮な場所に移動させ、安静に寝かせる。異常が続く場合は速やかに医師の診察を受けること。

皮膚に付着した場合　：直ちに水と石けんで良く洗い落とすこと。
異常があれば速やかに医師の手当てを受けること。
作業後は衣服等を交換し、着用していた衣服は他の物と分けて洗濯すること。

眼に入った場合　：直ちに多量の清浄水で 15 分以上洗眼した後、眼科医の手当てを受けること。

飲み込んだ場合　：直ちに口をすすぎ、200～300ml の水を飲ませ医師の診察を受けること。

医師に対する特別な注意事項　：症状: 最も重要な既知の症状と影響は、２章もしくは１１章に記載されている。(他の)症状や影響については現時点で知られていない。中毒症状は数時間又は数日後に現れることがある。
処置: 症状に応じて処置(洗浄･機能回復)を講じる。特に解毒剤なし。

5. 火災時の措置

適切な消火剤　：噴霧水、泡、粉末

使ってはならない消火剤　：二酸化炭素

火災時の特有の危険有害性　：一酸化炭素、二酸化炭素、塩化水素、臭化水素、フッ化水素、窒素酸化物、ハロゲン化合物、シリカ化合物が放出される可能性がある。

作成日　　2021 年 3 月　5 日
改訂日　　2025 年 5 月 30 日

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置
：自給式呼吸器および耐薬品性保護衣を着用

追加情報　：火に暴露された容器は噴霧水で冷却した状態に保つこと。火災および/または爆発の場合に、ヒュームを吸入しないこと。 汚染された消火用水を別途回収すること。下水または廃水処理施設に流さないこと。 汚染された消火廃水は法令に従って適切に処分する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項，保護具及び緊急時措置
：粉塵を発生させない。
保護具を着用する。
皮膚、眼、衣服への接触を避ける。

環境に対する注意事項　：土壌中に放出しないこと。
排水溝等に流出させない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
：小量の場合: 粉塵結合剤で回収し、廃棄すること。
大量の場合: 掃き集めるかすくい取る。
粉塵を発生させないこと。 法令に従って吸着材を廃棄すること。 廃棄物を適切な容器に集めること。
容器は、ラベルの貼付および密封が可能な容器とする。 水および洗剤を用いて、汚染された床および物質を完全に浄化すること。環境法令を遵守すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い　技術的対策　：「８．ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項　：ラベルをよく読む。記載以外に使用しない。
取扱いは換気の良い場所で行い、作業場の換気は十分行う。
取扱場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。
屋外での取扱いはなるべく風上から作業する。
取扱いの都度、容器を密閉する。
眼、皮膚、衣類に付けないこと。
保護手袋及び保護眼鏡／保護面を着用すること。

局所排気・全体排気　：「８．ばく露防止及び保護措置」を参照

接触回避　：「10. 安定性及び反応性」を参照

衛生対策　：この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをすること。

保管　安全な保管条件　：食物、飲料等と区別し、火気、直射日光を避け、鍵のかかるなるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管すること。
小児の手の届く所へ置かない。

安全な容器包装材料　：国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

鉱物性粉じん　：E=3.0/(1.19Q+1)
E:管理濃度(mg/m^3)
Q:当該粉じん遊離けい酸含有率(%)

許容濃度

日本産業衛生学会

吸入性結晶質シリカ　：0.03mg/m^3

ＡＣＧＩＨ

クロルフェナピル　：TWA 2.5mg/m3

結晶性シリカ　：TWA0.025mg/m^3

作成日　　2021 年 3 月　5 日
改訂日　　2025 年 5 月 30 日

設備対策　：　屋内で取扱う場合には、全体換気装置を設置する。
できるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。
取扱場所の近くに洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具　：　農薬用マスク

手の保護具　：　長時間にわたる直接接触でも問題ない素材でできた耐薬品性保護手袋(EN 374)
(保護指針 6 に準ずることが望ましい。EN 374 によると、透過時間は 480 分以上であること)：ニトリルゴム(0.4㎜)、クロロプレンゴム(0.5㎜)、ブチルゴム(0.7㎜)など。

眼、顔面の保護具　：　サイドシールド付き安全眼鏡(フレームゴーグル)

皮膚及び身体の保護具　：　作業および予想暴露量に基づいて、保護具を選択すること。前掛け、保護靴、耐薬品性保護衣等
(飛散の場合は EN14605 に従い、粉塵の場合は ENISO13982 に従う)。

特別な注意事項　：　最終消費者の手に渡る農薬を取り扱う際には、使用説明書の保護具に関する記述を適用すること。上下一体型作業衣の着用が望ましい。 作業服は、他の物と分けて保管すること。 食物、飲料および動物用飼料から離して保管すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態　：　細粒
色　：　淡褐色
臭い　：　特異臭
融点／凝固点　：　情報なし
沸点又は初留点及び沸騰範囲　：　情報なし
可燃性　：　情報なし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界
：　この製品が適切に、また意図された用途に使用される限り、どのような危険性も考えられない。
引火点　：　固体のため未測定
自然発火点　：　情報なし
分解温度　：　情報なし
ｐＨ　：　6.0～7.0(20℃)
動粘性率　：　情報なし
固体のため未測定
溶解度　：　情報なし
n-オクタノール／水分配係数(log 値)
：　情報なし
蒸気圧　：　情報なし
密度及び／又は相対密度　：　0.75g/cm^3(嵩比重)
相対ガス密度　：　情報なし
粒子特性　：　情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性　：　情報なし
化学的安定性　：　通常の使用では安定
危険有害反応可能性　：　指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。
避けるべき条件　：　製品安全データシートの第７項の取り扱い及び保管上の注意を参照すること。
熱分解:通常の取扱い条件下で危険分解物なし。
混触危険物質　：　強酸、強塩基、強酸化剤
危険有害な分解生成物　：　通常の取扱い条件下で危険分解物なし。

作成日　　2021 年 3 月　5 日
改訂日　　2025 年 5 月 30 日

11. 有害性情報

急性毒性

経口　：区分に該当しない
LD50　ラット　＞2,000mg/kg

経皮　：区分に該当しない
LD50　ラット　＞2,000mg/kg

吸入　：データが不足しているため分類できない。

皮膚腐食性／刺激性　：区分に該当しない
ウサギ　刺激性なし

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性
：区分に該当しない
ウサギ　刺激性なし

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性　：データが不足しているため分類できない。

皮膚感作性　：区分に該当しない
モルモット　感作性なし

生殖細胞変異原性　：成分の情報より、区分 2 とした。
(成分)
石英(結晶)：区分 2

発がん性　：成分の情報より、区分 1A とした。
(成分)
石英(結晶)：区分 1A

生殖毒性　：データが不足しているため分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)
：区分に該当しない
(成分)
クロルフェナピル：臓器に関係する毒性効果を持つ可能性がある。(中枢神経系)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)
：成分の情報より、区分 1(呼吸器、免疫系、腎臓)とした。
(成分)
クロルフェナピル：特定の臓器に影響する可能性がある。(中枢神経系)
石英(結晶)：区分 1(呼吸器、免疫系、腎臓)

誤えん有害性　：データが不足しているため分類できない。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性)　：区分 1
水生環境有害性 長期(慢性)　：区分 1

生態毒性　：水生生物に対する毒性の評価：
長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

魚
(ニジマス)　：LC50 (半数致死濃度) (96 h) 0.00744 mg/l (原体)
無影響濃度 (93 日) 0.003678 mg/l (原体)

甲殻類
(ミシッドシュリンプ)　：EC50 (96 h) 0.00203 mg/l (原体)
無影響濃度 (28 日), 0.000172 mg/l (原体)

藻類(緑藻)　：EC50 (72 h) 0.132 mg/l (原体)
無影響濃度 (72 h) 0.020 mg/l (原体)

作成日　　2021 年 3 月　5 日
改訂日　　2025 年 5 月 30 日

残留性・分解性　：　生分解性及び除去率の評価(水中環境)：
本品は未試験である。
本記述は、各成分の特性に基づくものである。
記載物質に関する情報：　４－ブロモ－２－(４－クロロフェニル)－１－エトキシメチル－５－トリフルオロメチルピロール－３－カルボニトリル　(別名クロルフェナピル)
生分解性及び除去率の評価(水中環境)：容易に生分解性されない(OECD基準による)
水中での安定性評価：物質は水と接触すると徐々に加水分解される。

生態蓄積性　：　生態蓄積性の可能性評価：
本品は未試験である。
本記述は、各成分の特性に基づくものである。
記載物質に関する情報：　４－ブロモ－２－(４－クロロフェニル)－１－エトキシメチル－５－トリフルオロメチルピロール－３－カルボニトリル　(別名クロルフェナピル)
生体蓄積性の可能性評価：生体蓄積性はないと考えられる。

土壌中の移動性　：　環境区分間の輸送評価：
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。
記載物質に関する情報：　４－ブロモ－２－(４－クロロフェニル)－１－エトキシメチル－５－トリフルオロメチルピロール－３－カルボニトリル (別名クロルフェナピル)
環境区分間の輸送評価：土壌曝露後には土壌の固形粒子に吸着する可能性が高いため、地下水の汚染は生じないものと思われる。

オゾン層への有害性　：　情報なし

その他　：　前処理なしに河川等に流してはならない。
ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにする。

13. 廃棄上の注意

化学品(残余廃棄物)、当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

残余廃棄物　：　関連法規並びに地方自治体の規則に従い、廃棄物処理業者に処理を委託する等により適切に廃棄すること。

汚染容器及び包装　：　関連法規並びに地方自治体の規則に従って適切に処理を行うこと。

14. 輸送上の注意

国際規制　国連番号　：　UN3077
品名　：　環境有害性物質 (固体)
内容物 クロルフェナピル
国連分類　：　9, EHSM
容器等級　：　Ⅲ

国内規制　陸上輸送　：　道路法等の規定に従う。
海上輸送　：　船舶安全法の規定に従う。
航空輸送　：　航空法の規定に従う。

特別の安全対策　：　輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
車両、船舶には保護具(手袋、メガネ、マスク等)を常備する他、緊急時の処理に必要な消化器、工具等を備えておく。

作成日　　2021 年 3 月　5 日
改訂日　　2025 年 5 月 30 日

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法

第一種指定化学物質

：　４－ブロモ－２－(４－クロロフェニル)－１－エトキシメチル－５－(トリフルオロメチル)ピロール－３－カルボニトリル(別名クロルフェナピル)
(管理番号：722)(含有量 1%未満のため化管法適用対象外)

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第 57 条)

：　結晶質シリカ

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第 57 条の 2)

：　結晶質シリカ

がん原性物質(則第 577 条の 2)

結晶質シリカ(石英)

毒劇物取締法　：　普通物

消防法　：　非危険物

農薬取締法　：　登録番号　第 24439 号

16. その他の情報

参考文献

・JIS Z 7252：2019　GHS に基づく化学物質等の分類方法
・JIS Z 7253：2019　GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 ― ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)
・独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE-CHRIP)
・原料 SDS

この安全データシートは現時点で入手可能な資料等をもとに作成しておりますが、物理化学的性質、危険有害性等に関しては、いかなる保証も成すものではありません。また注意事項は、通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いを行なう場合には自らの責任において用途に適した処置を講ずることが必要であることを理解した上で活用して下さい。